

秋田港の整備促進に係る要望活動

秋田港が環日本海の交流拠点として一層発展するよう、貿易の拡大のための利便性の向上をはじめ、防災拠点、エネルギー供給基地など、総合的な拠点機能を有する港湾としての整備促進について東北整備局秋田港湾事務所ならびに秋田県建設部に要望しました。



秋田港湾事務所との意見交換会

1. 東北整備局秋田港湾事務所への要望書の手交

4月20日、大島副会長、水澤専務理事が国土交通省東北整備局秋田港湾事務所を訪問し、渡部利幸所長に要望書を手交しました。

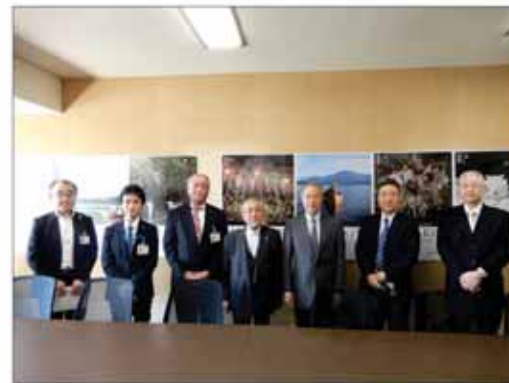
大島副会長は、冒頭の挨拶として、秋田県の貿易の発展のため、港の基盤整備について施策の充実・強化や積極的な国への働き掛けをお願いした後、要望書の概要について説明しました。

それを受け、渡部所長からは「昨今のコロナ禍や、ウクライナ情勢によるロシア貿易への影響など、厳しい状況が続いている。一方でクルーズ船の再開とそれに伴うクルーズ列車の運行や、洋上風力発電がこれから本格化するなど明るい話題も増えている。本日の意見交換により相互理解を深めていきたい。」旨のコメントがあり、要望内容に対する港湾事務所の取組みについて説明がありました。

その後、両社による意見交換が行われました。



秋田港湾事務所 渡部利幸所長(左)に要望書を手交する大島副会長(右)



秋田県建設部を訪問

2. 秋田県建設部への要望書の手交

4月28日、齊藤会長、大島副会長、児玉副会長が秋田県建設部を訪問、田中倫英部長に要望書を手交しました。

齊藤会長は、県の港の整備促進や、クルーズ船による地域振興など、引き続き県の後押しをお願いし、要望書の概要について説明しました。

それを受け、田中部長からは「物流など以前の状態までは回復していないが、今後は徐々に回復に向かうものと期待している。国からは防波堤の整備を進めてもらっており、また、クルーズ船の再開やクルーズ列車の運行など明るい話題も増えている。県としても引き続き後押ししていきたい。秋田港アクセス道路の早期完成に向けても引き続き尽力する。」旨のコメントがありました。



秋田県建設部田中倫英部長(左)に要望書を手交する齊藤会長(右)

秋田の貿易ビジネスをサポートします
ATPA 一般社団法人 秋田県貿易促進協会

〒010-0951 秋田県秋田市山王2丁目1-40 田口ビル1階
電話 018(896)7366 FAX 018(896)7367 Email info@a-trade.or.jp ホームページ http://a-trade.or.jp/

令和4年度 定時総会開催

令和4年度 第2回理事会 懇親会 開催



定時総会の様子

6月24日、秋田キャッスルホテルにおいて、会員35名(ほかに委任状提出78名)出席のもと、新型コロナウイルス感染症対策には十分配慮したうえで、令和4年度の定時総会が開催されました。開会に当たり齊藤会長は、会員、関係機関等への日頃の感謝とともに、今年度も行政および関係機関との連携強化のもと、この感染症の影

響を注視しつつ、可能な限り事業計画に基づき積極的に取り組むとの決意を述べました。

その後、議案審議に移り、令和3年度の事業報告と決算報告、令和4年度の事業計画と予算、理事監事の選任、参与委嘱の同意の6議案は、出席者の賛同を得て、満場一致で承認されました。

この決議にもとづき、速やかに事業実施できるよう準備を進めていきます。

また、定時総会終了後、理事会が開かれ、任期満了にともなう役員を選任が審議されました。現体制の維持を求める発言があり、齊藤健悦会長、大島紳司副会長、児玉修副会長、鈴木稔副会長、水澤聡専務理事の再任が満場一致で承認されました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により2年間中止していた懇親会を開催し、情報交換、相互交流を図るなど有意義な会となりました。



議長を務めた齊藤健悦会長

会長就任挨拶

一般社団法人秋田県貿易促進協会
会長 齊藤 健悦



皆様のご支持により、6月24日開催された定時総会後の理事会において会長に再任されました。

これまで、6期12年会長職を続けさせて頂いた経験を活かし、皆様のご期待に添えるよう、決意を新たに全力で取り組む所存ですので、引き続き県、市町村をはじめとする関係機関の皆様のご支援、会員の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、当協会の事業も約2年の間海外との往来が制限

されたため、中止や変更を余儀なくされた事業もありました。

また、今年に入りロシアのウクライナ侵攻や急激な円安等により、日本経済は打撃を受けており、海外取引にも大きな影響がでております。

しかしながら、このような状況の中でも、人口減少が続く本県においては、積極的に海外へ市場を求めていくことが経済の発展に必要であり、海外取引の拡大や海外展開を目指す企業を支援する当協会の役割は、今後ますます大きくなるものと考えています。

世の中はアフターコロナに向かって社会経済活動を再開させており、今後は、出来るだけ従来の形で事業が推進できるよう取り組んで参ります。

終わりに、会員企業の皆様のみならずのご発展を祈念するとともに、新型コロナウイルスの一日も早い収束を願い、私の就任のあいさつといたします。

令和3年度 貿易取引の拡大・促進に関する取り組み 事業報告

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための渡航制限や規制が続いたため、収束後に実施を想定していた海外プロモーション活動や、バイヤー招聘など、海外との往來を伴う事業については、昨年度に続き中止や変更などの対応を余儀なくされました。このような状況の中でも、県内企業の海外取引が拡大するよう、オンラインを活用した商談会やセミナー、情報交換などを実施しました。

1. 貿易取引の拡大促進

<米国プロモーション活動>

米国における秋田の日本酒のブランド構築や輸出拡大を目指し、当初予定していた海外バイヤー招聘や現地市場調査等の事業は、内容を一部変更し、国内のみで開催可能な事業を実施した。

①酒蔵訪問

面会とオンラインの併用により、米国の日本酒輸入業者との情報交換を実施した。

実施日：令和3年4月15日～16日

場所：県内酒蔵 5社

②米国消費者向けオンラインセミナー
米国の日本酒輸入業者と連携し、主に米国の日本酒消費者に向けて県内の酒蔵を紹介するオンラインセミナーを開催した。

実施日：令和3年4月23日

5月21日、5月28日(全3回)

参加者：県内酒蔵 3社

③県内酒蔵向け日本酒講座

主に県内酒蔵の海外担当者を対象として、海外バイヤーとの商談スキルアップを目指すため「WSET SAKE LEVEL3 秋田特別講座」を開催した。

講座：令和3年9月13日～15日

試験：令和3年10月25日

場所：秋田市にぎわい交流館AU

参加者：4名

④県内酒蔵向けオンラインセミナー
アメリカ日本酒市場の最新情報や、日本酒の海外プロモーションについてのオンラインセミナーを開催した。

実施日：令和4年2月22日

参加者：24名



県内酒蔵向け日本酒講座「WSET SAKE LEVEL 3 秋田特別講座」を開催

<シンガポールバイヤー招聘>

県産食品の輸出促進のため、シンガポールの食品バイヤーとオンラインで商談、意見交換を実施した。今年度の取引開始に向けて商談を継続している。

実施日：令和3年8月24日、11月26日

対象品目：農産物(りんご等)

<越境EC(電子商取引)活用>

オンライン取引の啓発のため、「Alibaba.com」等を紹介するオンラインセミナーを開催した。

実施日：令和3年7月27日、7月28日

(全2回)

参加者：各13名

個別相談：3件、うち1件で導入



越境EC活用オンラインセミナーの様子

<台湾輸出促進>

令和3年11月に開催した「秋田台湾オンライン商談会」(秋田県主催、秋田銀行協力)に連携、前年度当協会が推薦した企業が引き続き参加した。

2. 意見要望活動

<港湾整備促進>

秋田港整備促進に関する要望書提出

実施日：令和3年4月23日

場所：国土交通省東北地方整備局

秋田港湾事務所、秋田県建設部



東北地方整備局秋田港湾事務所への要望

会員企業紹介 小玉醸造株式会社

醸造元として明治12年(1879年)に創業。清酒「太平山」と純米大吟醸「天巧」のブランドで知られる。

日本酒の他、秋田県民に馴染みの深い「ヤマキウ」のブランドで味噌と醤油を製造。「ヤマキウ味噌」は秋田県内の生産量を誇っている。敷地は旧街道をまたいで酒類部と食品部に分かれており、創業当時の面影が残るレンガ造りの蔵が並ぶ。

「太平山」の酒造りの特徴として伝統的な生酛造りを見直して独自に開発したのが通称「秋田流生酛造り」。こ

の手法は近年さらに進化し、科学的知見に基づいた分析・解析力と経験、技が組み合わさった「家伝生酛造り」として純米酒、純米吟醸酒に生かされている。仕上がった酒は香り、旨味と酸味のバランスが良く、幅広い料理に合い、国内外で評価が高い。現在、酒の生産量の約15%を海外の15か国に出荷。北米、アジアの国々を中心に輸出されている。2020年からは秋田県産の果物を使ったリキュールの販売にも着手。お土産品として人気を得ている。敷地内に試飲ができる蔵ショップKooLabを

直営。酒蔵を改装したギャラリー・ブルーホールで行われるアート展、酒蔵コンサートはファンに慕われ、家族で楽しめるスポットとなっている。



酒蔵外観



シンガポールにて



インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)トロフィー受賞

社名 小玉醸造株式会社
代表者 小玉真一郎
所在地 〒018-1504
潟上市飯田川飯塚字飯塚34-1
電話番号 018-877-2100
URL <https://www.kodamajozo.co.jp/>

会員企業紹介 株式会社アイセス



製造の様子

近年、環境に対して負荷の少ない太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギー好適地としても脚光を浴びている秋田県。そんなテクノロジーと自然がバランスよく共存する土地で、私たちアイセスは1980年の創業時から培ってきた高度な技術力と、トレンドを読み未来を推し測る分析力を武器に、確かな信頼と実績を積み上げてきました。設計課は制御盤、電子回路、ユニット製品などの設計から製品の生産立ち上げまで、幅広く対応しています。盤製作グループでは、公共向けの各

種制御盤・配電盤から個別仕様品まで、ありとあらゆる製品の組立を行っています。

基板実装グループでは、面実装部品の取付やディスクリット部品のはんだ付けのほか、極小ロット対応の基板改造を行います。

新エネルギー事業部では太陽光発電やソーラーLED街路灯の開発・製造・施工のほか、再生可能エネルギー関連事

業など、多様な業務を手掛けています。チーム力を高めるため、頑なに貫いている少数精鋭の組織体。フロンティアスピリットを有する志の技術者集団は、絶えず世界に目を向け、個々のスキルに磨きをかけながら、次代のイノベーションを生み出すべくチャレンジを続けています。



太陽光発電システム



社屋外観

社名 株式会社アイセス
代表者 齊藤 徹
所在地 〒018-1512
南秋田郡井川町北川尻下田面替場11-1
電話番号 018-874-3252
URL <https://www.aises.jp/>